



2022年7月5日開催

# 個人投資家セミナー

三菱商事株式会社 IR部



世界とひとりのために。

 **三菱商事**

## 免責事項

- 本資料にて開示されているデータ、将来予測、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、本資料の発表日現在の判断や入手可能な見積、予想、期待に基づいています。これらは、さまざまな不確実性が内在しており、実際の業績は経営環境の変動などにより、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本情報は、今後予告なしに変更されることがあります。情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報と共に照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

**1** 会社概要

**2** 業績と株主還元

**3** 成長戦略（中期経営戦略2024）

**4** 社会貢献活動、身近な商品

## 1 会社概要

## 2 業績と株主還元

## 3 成長戦略（中期経営戦略2024）

## 4 社会貢献活動、身近な商品

# 数字で見る三菱商事

設立



1954年

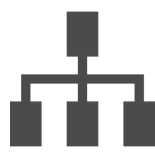
グローバルネットワーク



約90カ国

2022年4月1日時点

連結対象会社数



1,674社

2022年3月31日時点

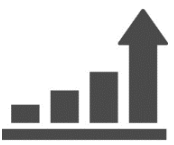
連結従業員数



約8.1万人

2022年3月31日時点

連結純利益



8,500億円

2022年度 業績見通し

時価総額



約6.1兆円

2022年6月27日現在

配当利回り



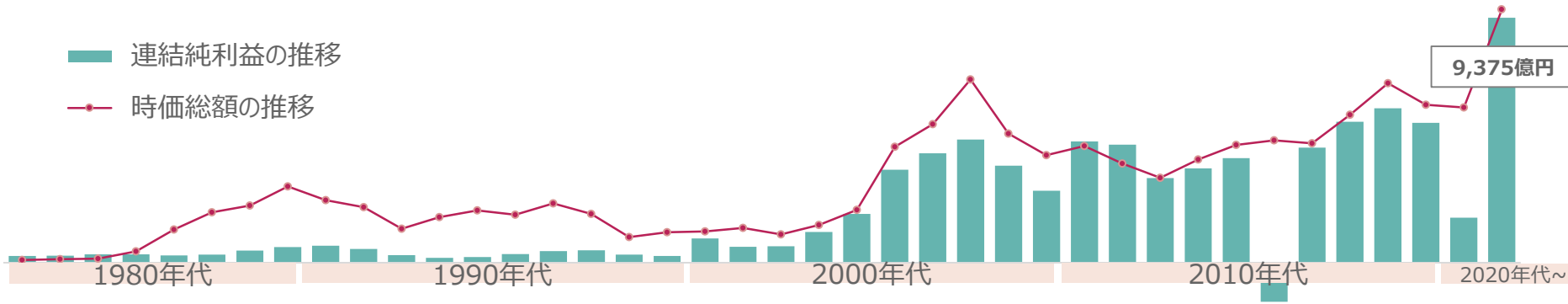
3.70%

2022年6月27日現在

カーボンニュートラル社会実現



2030年半減  
2050年ネットゼロ



# 事業分野（10セグメント）

150年の歴史の中で培った全産業における知見と世界に広がるパートナーシップ



## 天然ガスグループ

LNGの生産、輸送、トレーディング、輸入代行



## 総合素材グループ

自動車・モビリティ・建設・インフラ業界において炭素、鉄鋼製品、機能素材などを提供



## 石油・化学ソリューショングループ

原油・石油製品・LPG・石油化学製品・塩・メタノール



## 金属資源グループ

原料炭（製鉄用コークス原料）・銅・鉄鉱石・アルミ



## 産業インフラグループ

プラントエンジニアリング・産業機械、船舶・宇宙航空機



## 自動車・モビリティグループ

乗用車・商用車の海外現地生産・販売、販売金融、アフターセールス



## 食品産業グループ

食糧、生鮮品、生活消費財、食品素材



## コンシューマー産業グループ

リテール、アパレルS.P.A.、ヘルスケア、食品流通・物流、タイヤ



## 電力ソリューショングループ

発電事業、エネルギーサービス事業、再生可能エネルギー事業



## 複合都市開発グループ

都市インフラ、都市開発、アセットファイナンス



キャメロンLNG（米国）  
【天然ガスグループ】



BMA（豪州）・ケジャベコ（ペルー）  
【金属資源グループ】



Cermaq（ノルウェー）  
【食品産業グループ】



Eneco（オランダ）  
【電力ソリューショングループ】

**1** 会社概要

**2** 業績と株主還元

**3** 成長戦略（中期経営戦略2024）

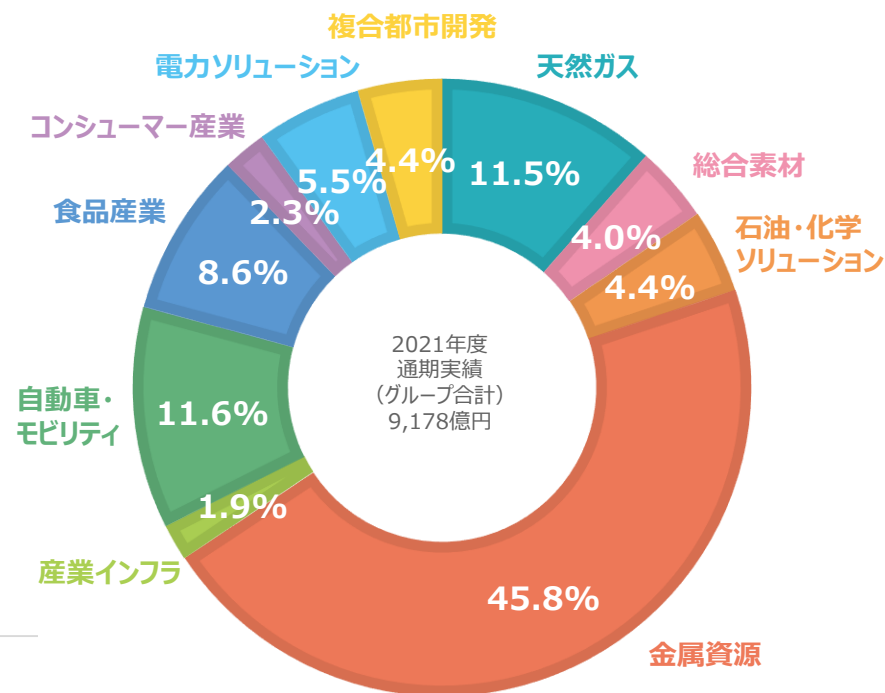
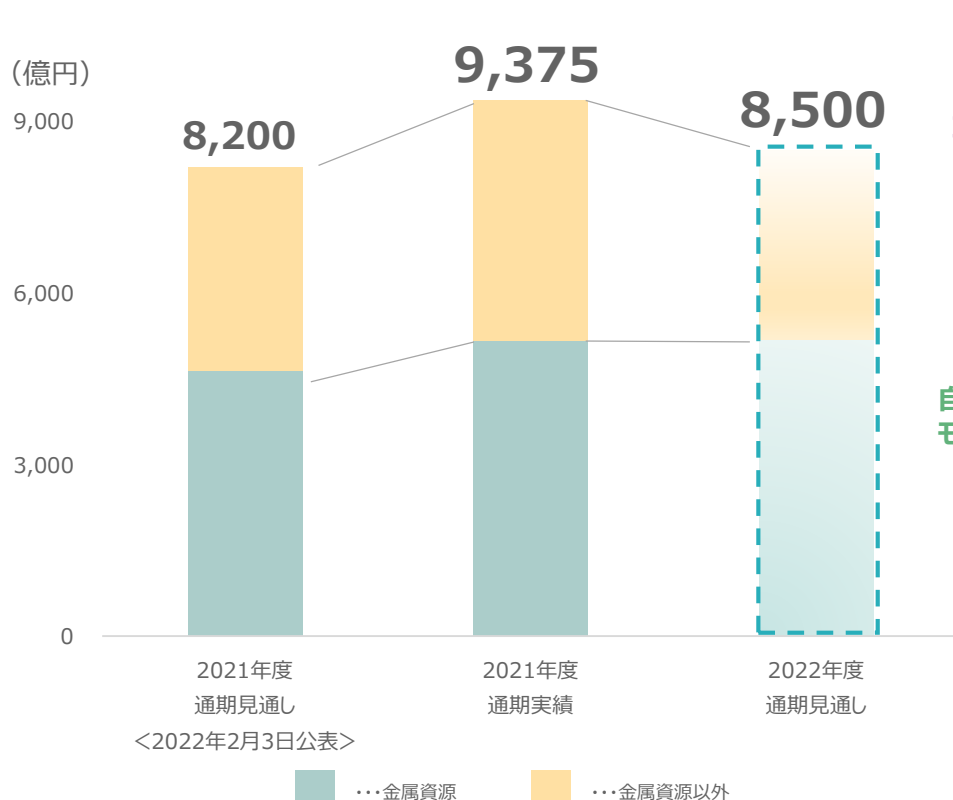
**4** 社会貢献活動、身近な商品

## 2021年度通期実績

- 前年同期比+7,649億円の増益となり過去最高益を更新
- 資源価格の堅調な推移と経済の回復局面において事業環境が改善したことで、各事業で収益機会を着実に利益に繋げた

## 2022年度通期見通し

- 事業環境の不透明さを考慮し、業績見通しは21年度通期実績比875億円減の8,500億円





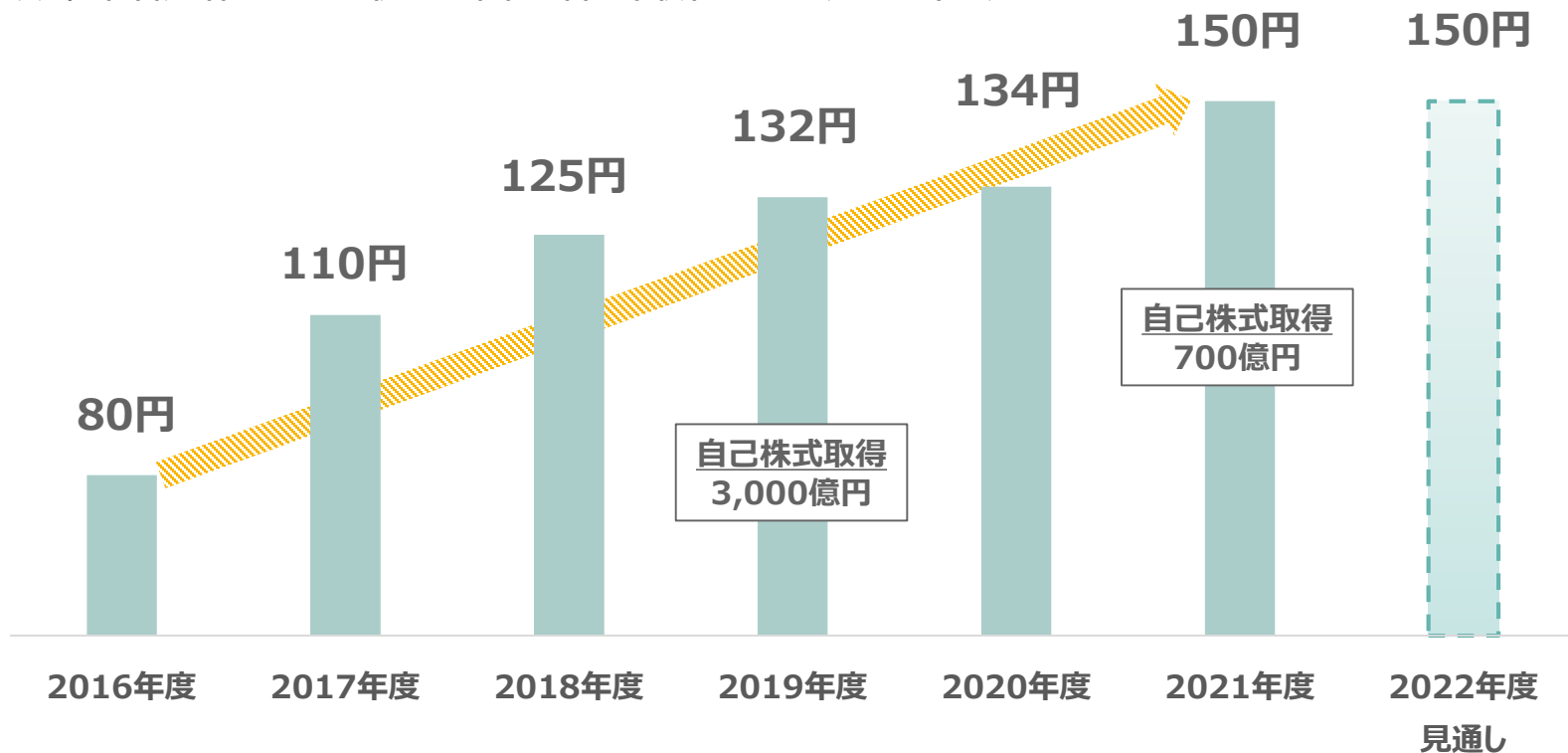
# 株主還元方針

## 2021年度

- 2016年度以降、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を継続
- 2021年度の1株当たり配当は年間150円（直近見通し比+8円、2016年度から2倍近く伸長）に引き上げ
- 加えて、財務健全性や総還元性向を踏まえ700億円を上限とする自己株式の取得を決定

## 2022年度見通し

- 2022年度も引き続き累進配当を継続し、2021年度の150円を維持
- 中期経営戦略2024に従い、自己株式取得は機動的に判断



**1** 会社概要

**2** 業績と株主還元

**3** 成長戦略（中期経営戦略2024）

**4** 社会貢献活動、身近な商品

目指すこと  
中経2024で

つなげ・つながることで  
三菱商事グループならではの総合力を最大化

## MC Shared Value (共創価値) の創出

### 定量・還元

- ・ 価格要因を除いた利益の着実な成長、累進配当と機動的な自社株買いによる株主還元
- ・ 財務規律に基づくキャッシュフロー管理、将来の成長に向けた投資計画・事業ポートフォリオ

### 1 トランスフォーメーションを主導し、成長につなげる

#### 成長戦略

- EX戦略 (脱炭素ソリューションプロバイダー)
- DX戦略 (リアルとデジタルの融合)
- 未来創造 (新産業創出/地域創生)

### 2 規律ある成長で未来へつなぐ

#### 経営管理

- 経営管理制度

### 3 多様なインテリジェンスをつなぐ

#### 推進メカニズム

- 組織体制
- タテ×ヨコによる総合力最大化
- 総合力最大化の推進メカニズム

### 4 多彩・多才なヒトをつなぎ、活気に満ちた組織へ

#### 人事施策

- 人的資本の価値最大化

### 5 多様なステークホルダーとつながり、社会から信頼され続ける存在へ

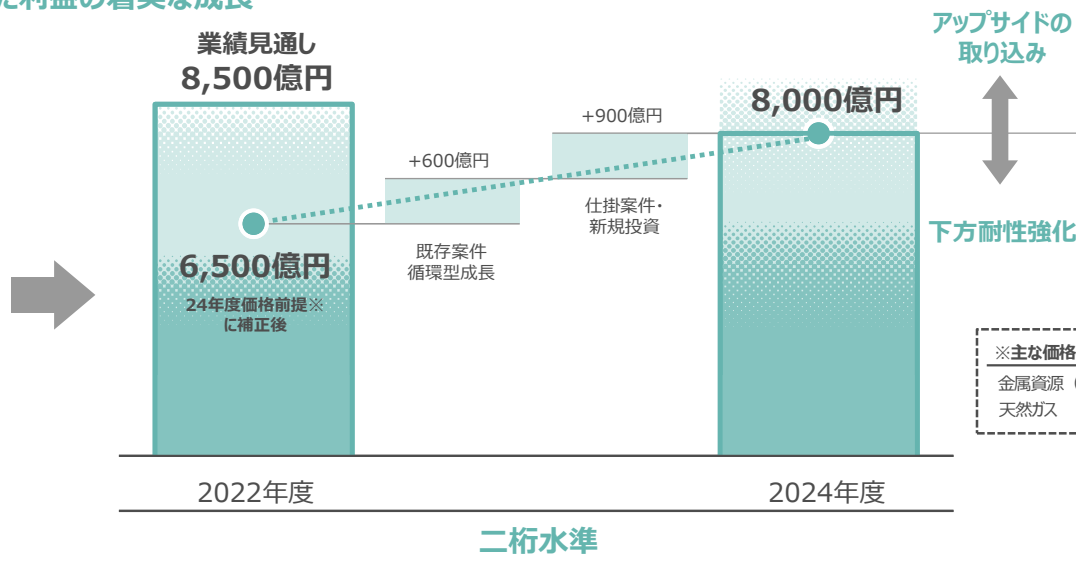
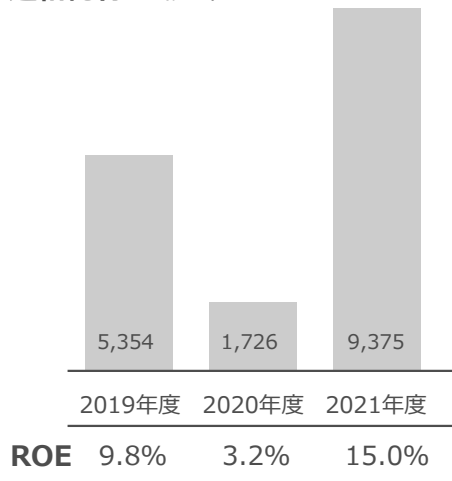
#### サステナビリティ施策

- マテリアリティ
- 「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」に関する取り組み

定量目標

価格要因を除いた利益の着実な成長

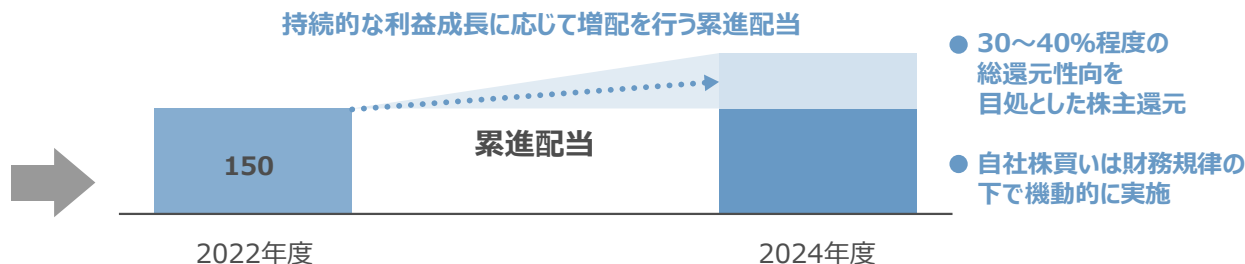
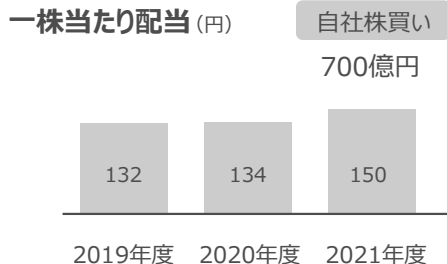
連結純利益 (億円)



株主還元

財務健全性、配当の安定成長、株主還元に対する市場期待の3つのバランスがとれた還元政策

一株当たり配当 (円)



中経期間で3兆円規模の投資を計画。EX関連分野への投資を加速。  
同時に、収益基盤の維持・拡大とDX・成長投資関連分野への投資も着実に促進。

## 2022年度～2024年度の投資計画

分野	投資規模	中経2024の主な投資対象
収益基盤の維持・拡大	約1兆円	原料炭 食料 自動車 等 銅 天然ガス
EX関連	約1.2兆円	再生可能エネルギー 電池材・ポークサイト 等 次世代エネルギー (水素・アンモニア・バイオ等)
DX・成長投資関連	約0.8兆円	デジタルインフラ 都市運営 サプライチェーン最適化 都市開発 等



創出したCFを  
将来の成長に向けて  
EX/DX・成長投資関連に配分



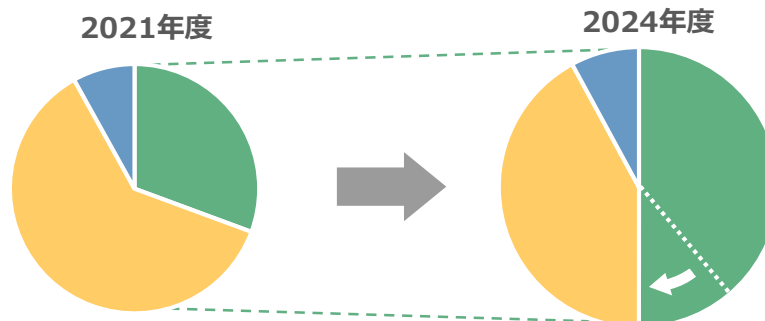
EX関連投資を加速

- 「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」で、2030年度迄に2兆円規模のEX関連投資を計画
- EX関連投資への加速を通じて、ポートフォリオを強靱化し、脱炭素化とエネルギー安定供給の両立を目指す

## 事業ポートフォリオ

(投融資残高内訳)

- 収益基盤の維持・拡大
- EX関連
- DX・成長投資関連



- EX関連事業ポートフォリオを、3割（2021年度末）から4割程度（2024年度末）に拡充
- 将来的には5割程度に引き上げていく

# MC Shared Value (共創価値)の創出 そして未来創造

三菱商事(MC)グループは、社会やパートナーと共に、  
社会課題の解決を通じて継続的な共創価値を創出し、新たな未来をつくっていきます。

脱炭素社会への移行、持続可能な社会と暮らしの実現、地域コミュニティの活性化——。  
目の前にある社会課題の解決に向け、私たちの持てる総合力を発揮し、未来を創り出していく。  
そのために「MC Shared Value(共創価値)の創出」という新たな目標を掲げました。  
私たちが描く未来は、地域色豊かなコミュニティに人が集い、生き生きと働き暮らす社会です。  
例えば、再生可能エネルギーを起点に、  
地域に新たな産業を生み出せば雇用が生まれ、人々が集う街ができる。  
デジタルの力で、エネルギー効率がが高く、便利で活気あふれる魅力的な街をつくる。  
私たちは、そのための取り組みを加速していきます。  
「Create MC Shared Value」。  
この決意をもって、社会課題に真正面から向き合い、  
社会やパートナーと共に未来創造に挑戦していきます。



## 最近の主なEX(エネルギートランスフォーメーション)・DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組み

ペルー(ケジャベコ)銅鉱山の権益追加取得	2018年
DX戦略強化に向け MC Digital/Industry One設立	2019年/2021年
NTTとの産業DX推進に関する業務提携合意	2019年
再エネを主力とする(次世代型の) 総合エネルギー会社エネコ社への資本参画	2020年
HERE Technologies社への出資	2020年
欧州メジャー(Shell)と共同で 大型洋上風力事業権落札	2020年
CCU技術を有するカナダ CarbonCure社への 資本参画及び業務提携	2021年
中部電力ミライズコネクスト設立	2021年
インドネシアタンゲール LNGプロジェクト CCUS事業を含む開発計画の承認	2021年
シェルカナダとの 水素(アンモニア)製造に向けた覚書締結	2021年
アマゾン向け再生可能エネルギーを活用した 日本初長期売電契約締結	2021年
北海道電力と水力発電分野での 共同運営事業の開始	2021年
国内3海域(秋田県沖、千葉県沖) 洋上風力発電事業者への選定	2021年
ビル・ゲイツ氏の脱炭素関連ファンド Breakthrough Energy Catalystへの参画	2022年

詳しくはWebで



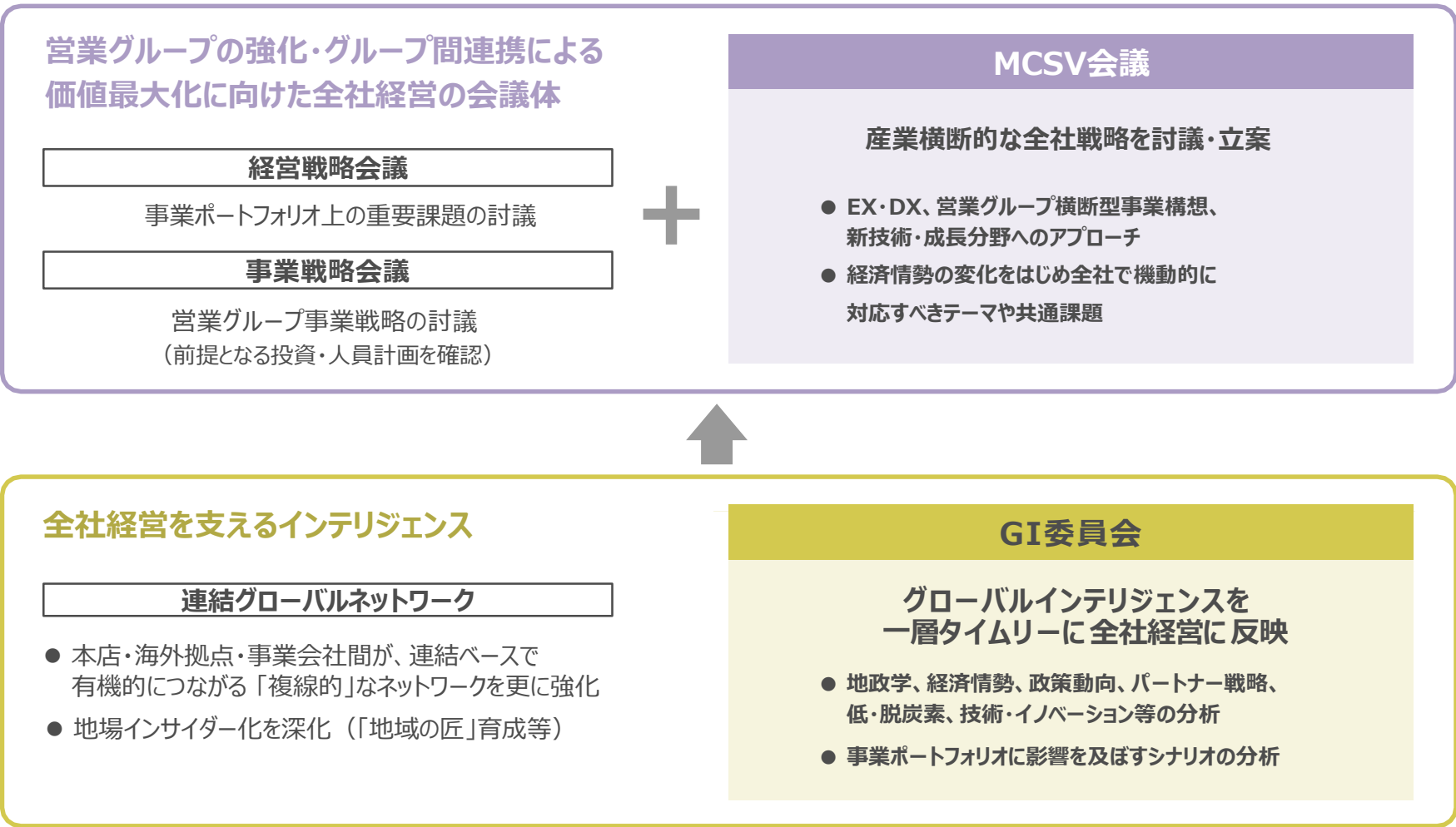
# 中期経営戦略（経営管理制度）

定量目標の達成に向け、自律的なグループ経営の強化を促す経営管理メカニズムを構築。



# 中期経営戦略（総合力最大化の推進メカニズム）

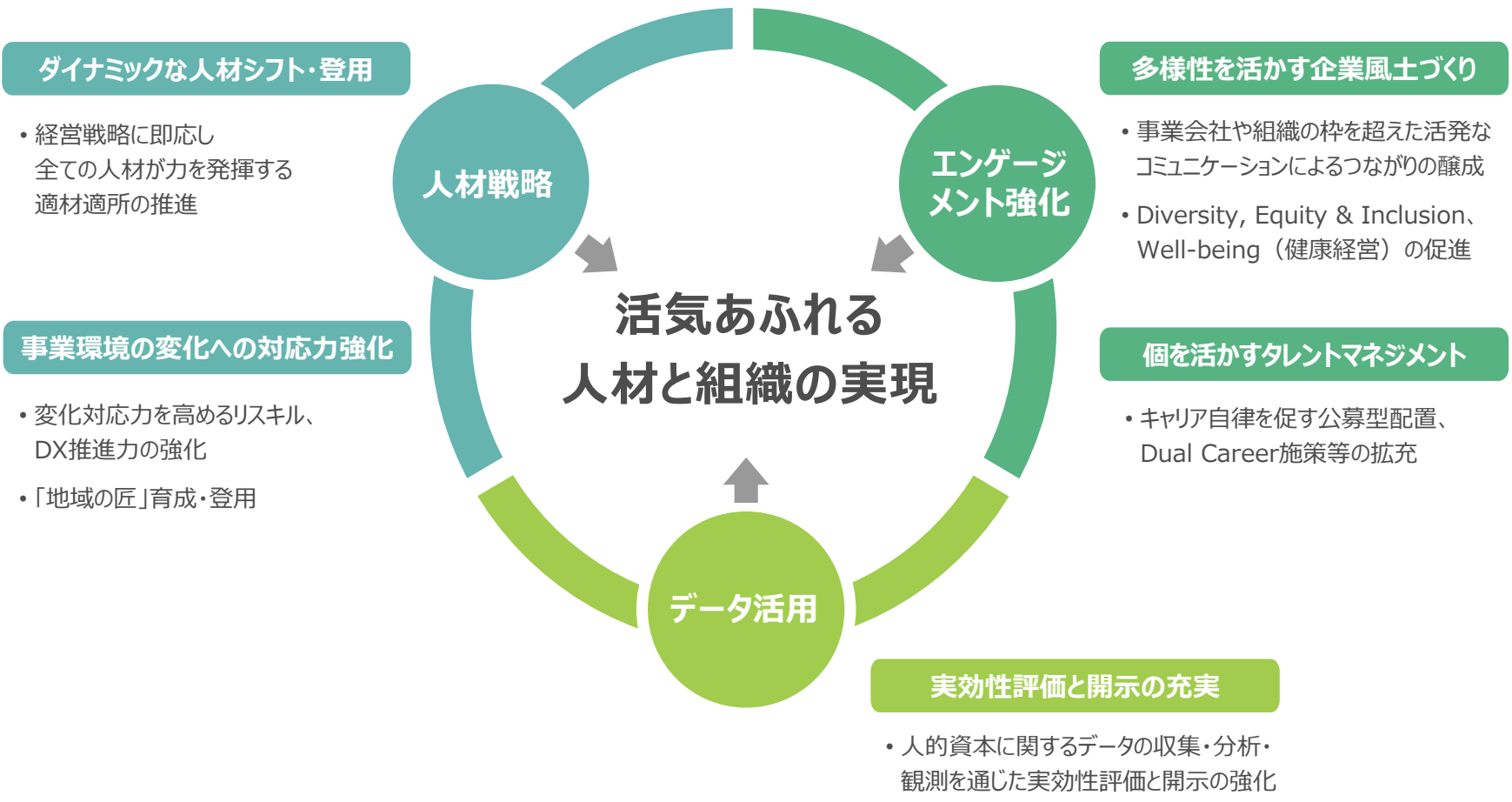
業界を超えて事業環境が非連続に変化する中、GI委員会でのインプットも踏まえつつ、MC Shared Value会議（MCSV会議）を通じて、産業横断的な全社戦略を推進。













# 中期経営戦略（人的資本の価値最大化）

“多彩・多才な人材がつながりながら、MCSV創出に向け、やりがいと誇りをもって主体的に責任を果たす”  
そうした「イキイキ・ワクワク、活気あふれる人材と組織」を実現することで、人的資本の価値最大化を目指す。



# 中期経営戦略（マテリアリティ）

MCSVの創出に向けて、当社が事業活動を通じて解決していく重要な社会課題を「マテリアリティ」として再定義し、取り組みの指針とする。

課 題		概 要
カーボンニュートラル社会と 物心共に豊かな生活の実現	 <b>脱炭素社会への貢献</b>	移行期の低・脱炭素化に資する製品・サービスを提供しながら、温室効果ガスの削減に 取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。
	 <b>自然資本の 保全と有効活用</b>	地球が最大のステークホルダーであると認識し、生物多様性の維持や自然資本の保全に 努めるとともに、環境への負荷を低減しながらサーキュラーエコノミーの実現に取り組みます。
	 <b>持続可能で安定的な 社会と暮らしの実現</b>	各国・顧客のニーズに基づく資源・原材料・製品・サービス等の安定供給責任を果たしながら、 様々な国・産業における事業を通じ、将来に亘って持続可能な社会と暮らしを実現します。
	 <b>イノベーションを通じた 社会課題の解決</b>	イノベーションがもたらす産業の大きな変化も取り込みながら、社会課題の解決に資するビジネスを 創出していきます。
	 <b>地域課題の解決と コミュニティとの共生</b>	各国・地域が直面する課題の解決に事業を通じて貢献し、経済や社会の発展に寄与するとともに、 多様なステークホルダー、地域・コミュニティとの共生・共創を図ります。
	 <b>事業推進における 人権の尊重</b>	様々な国で多様な事業を推進する上で携わるすべてのステークホルダーの人権を尊重し、 各国の情勢も踏まえながら、バリューチェーン上の課題解決を追求します。
三価値同時実現の 基盤となる組織の 追求	 <b>多様な人材が未来を創る 活気に満ちた組織の実現</b>	人材が最大の資産である事業特性を踏まえ、組織全体で三価値同時実現の原動力となる 多彩で多才な人材を育成し、また多様な人材が価値観を共有し、つながりながら切磋琢磨し 成長できる組織の実現に取り組みます。
	 <b>透明性高く柔軟な組織の実現</b>	事業環境の変化に迅速に対応しながら、連結・グローバルベースで実効性のあるガバナンスを 実現し、透明性と柔軟性を備えた健全な組織の維持・強化に努めます。

**1** 会社概要

**2** 業績と株主還元

**3** 成長戦略（中期経営戦略2024）

**4** 社会貢献活動、身近な商品

## インクルーシブ社会の実現

### 主な活動

- ・母と子の自然教室 (1974～)
- ・DREAM AS ONE (2014～)
- ・子供の貧困支援 (2020～)等



母と子の自然教室



DREAM AS ONE.  
(障がい者スポーツ支援)

## 次世代の育成・自立

### 主な活動

- ・MC International Scholarship (2000～)
- ・三菱商事アート・ゲート・プログラム (2008～)
- ・三菱商事高校生海外留学奨学金 (2019～)等



MC International Scholarship



三菱商事アート・ゲート・プログラム

## 環境の保全

### 主な活動

- ・熱帯林再生プロジェクト (1990～)
- ・サンゴ礁保全プロジェクト (2005～)
- ・「彌太郎の森」国内森林保全プロジェクト (2009～)等



熱帯林再生プロジェクト



サンゴ礁保全プロジェクト

## 災害支援

### 主な活動

- ・東日本大震災復興支援活動 (2011～)
- ・義援金・支援金による緊急支援
- ・社員による被災地でのボランティア活動 等



被災地でのボランティア活動



ふくしまワイナリープロジェクト  
(東日本大震災復興支援)

# サプライチェーンにおいて三菱商事が関係している身近な商品

三菱商事ライフサイエンス株式会社



かどや製油株式会社



日本KFCホールディングス株式会社



伊藤ハム米久ホールディングス株式会社



カンロ株式会社



株式会社ローソン



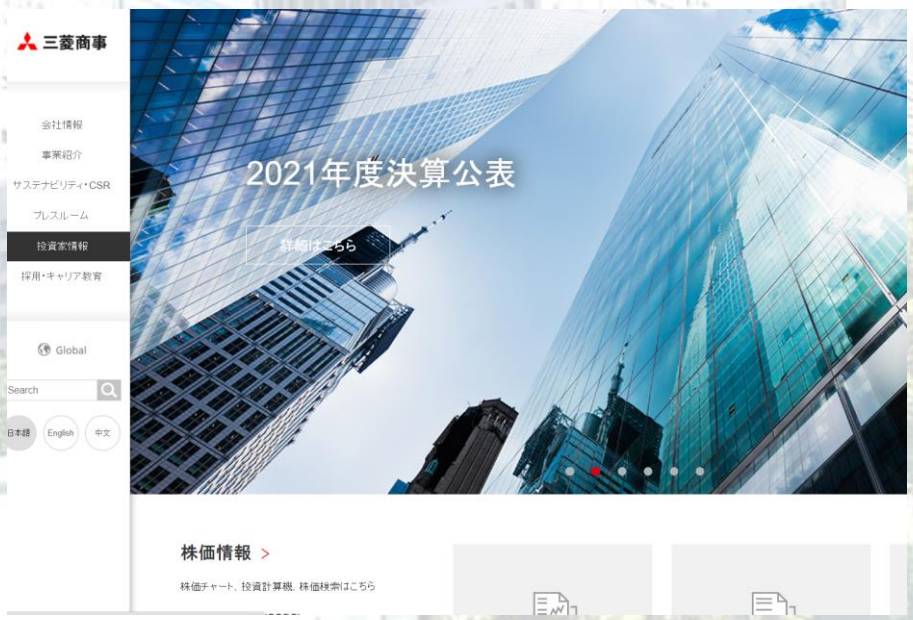
# ウェブサイトのご案内

当社をより分かりやすく知っていただくため、最新の決算情報をはじめ、様々な情報を掲載しています。

三菱商事 投資家情報



<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/>



最新の決算情報を掲載

個人投資家・株主向けコンテンツも充実

ご清聴、誠にありがとうございました。